



学校教育目標 【自立と共生】自ら気づき、共に学ぶ、感性豊かな生徒

重点目標 「一人一人の良さがともに伸びる学校」

合言葉 「Challenge、Communication、Collaboration」

**豊かな人間性**

- 自律心を養い、他人とともに協調する
- 人権感覚を高め、温かな心で生活する
- 爽やかな気持ち、感動する心を大切にする

**健康・体力**

- 心身の健康づくりのための自己管理能力の育成
- 体育的行事の充実と推進
- 部活動への積極的な参加

**資質・能力の育成**

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 学び合う  
根拠を持って自分の考えをまとめ、表現し、伝えることができる
- わかり合う  
他の意見や考えを理解し、自分の意見や考えと比較して違いを認めることができる
- 高め合う  
よりよい考えを創ろうとする姿勢をもつ

何が身についたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 〈生徒主体で誰一人取り残さない授業づくり〉
- 自分の考えをベースにしなが、他の考えを理解し、比較検討を通して、問いや考えを持つ
- 他の意見と自分の考えをすりあわせながら、協働的に課題解決に向かう姿勢で問いや考えを再構築する
- 自分自身で考え、他を受け止め、認めながら判断して、振り返ることを通して決めて、次のステップへ進む

<生徒の実態>

- 自分の役割を自覚し、協力的な活動ができる
- 与えられた課題はしっかりやり遂げることができる
- 伝統である「挨拶・返事・素早い行動」を実践しようとする

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・情報の共有による個への対応  
学習指導、教育相談、進路指導
- ・保護者、スクールカウンセラー、外部機関との連携

<目指す生徒の姿>

- 自分で決め、最後までやり遂げる生徒
- 対話(人・もの・こと)を通して、学びを深める生徒
- 誰かのために協力し合う生徒

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・見通しや自分の考えをもって学習に臨む 主体性
- ・自分の考えをアウトプットし広げ深める 協働・対話
- ・物事をとらえる見方や考え方を生かす 深い学び
- ・縦割り集団の効果的な活動 乗り越える・共に伸びる

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・授業の中で「一人学び」時間を確保し自分の考えをもつ
- ・聴いて→考えて→つなげる授業
- ・他の考えを理解し自分の考えを再構成する
- ・本物にふれる実体験を通して、感動を味わう

実施するために何が必要か

○指導体制の充実(幼小中連携)、家庭・地域との連携・協働

- 幼小中連携をベースにした校内研修体制の充実  
「野の花のようなしなやかさと清らかさをもっている子」
- ・学びの接続を意識した研修交流〈授業改革〉
- ・須山中で育てたい教科横断的資質・能力の検討

- コミュニティ・スクールの推進
- ・家庭、地域、関係諸機関との連携を図る
- ・地域を巻き込んだ活動の推進:各教科、総合的な学習等  
地域を学ぶ(野の花学習等) 地域のために(地域行事への参加)、地域を豊かに(防災教育等)、基礎学力の定着

**安心・安全**

- ・安全・安心な居場所づくりにした配慮〈魅力ある学校づくり〉
- ・インクルーシブ教育をふまえた生徒理解
- ・防災教育や安全対策、人権教育等に関する学習の充実

**開かれた学校作り**

- ・学校ホームページ、学校たより等による学校情報の発信
- ・家庭や地域の評価による教育活動の点検と改善
- ・地域行事への参加、地域への貢献、地域との交流